



## 2021年12月期 第2四半期決算短信(日本基準)(連結)

2021年8月12日

上場会社名 株式会社 フジオフードグループ本社  
 コード番号 2752 URL <http://www.fujio-food.com>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 藤尾 政弘

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 グループ財務経理担当 (氏名) 仁田 英策

TEL 06-6360-0306

四半期報告書提出予定日 2021年8月12日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2021年12月期第2四半期の連結業績(2021年1月1日～2021年6月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年12月期第2四半期	12,102	5.3	1,962		469		148	
2020年12月期第2四半期	12,784	31.7	1,604		1,654		2,251	

(注) 包括利益 2021年12月期第2四半期 269百万円 ( %) 2020年12月期第2四半期 2,589百万円 ( %)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年12月期第2四半期	3.44	3.43
2020年12月期第2四半期	52.19	

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2021年12月期第2四半期	27,497	4,595	16.7	104.32
2020年12月期	24,397	3,565	14.6	82.43

(参考) 自己資本 2021年12月期第2四半期 4,578百万円 2020年12月期 3,559百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年12月期		0.00		2.50	2.50
2021年12月期		0.00			
2021年12月期(予想)					

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無: 無  
 2021年12月期の配当につきましては、未定とさせていただきます。

### 3. 2021年12月期の連結業績予想(2021年1月1日～2021年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	円 銭
通期	27,073	1.0	2,734		1,906		802	18.54

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

詳細につきましては、本日(2021年8月12日)公表の「通期連結業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

#### 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示  
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無  
以外の会計方針の変更 : 無  
会計上の見積りの変更 : 無  
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2021年12月期2Q	44,594,260 株	2020年12月期	44,584,660 株
期末自己株式数	2021年12月期2Q	703,474 株	2020年12月期	1,403,430 株
期中平均株式数(四半期累計)	2021年12月期2Q	43,276,072 株	2020年12月期2Q	43,144,610 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

#### 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書 .....	6
第2四半期連結累計期間 .....	6
四半期連結包括利益計算書 .....	7
第2四半期連結累計期間 .....	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 .....	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	10
(継続企業の前提に関する注記) .....	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	10
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用) .....	10
(追加情報) .....	10
(四半期連結損益計算書関係) .....	10
(セグメント情報等) .....	11

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国の経済は、新型コロナウイルス感染症の拡大により、度重なる緊急事態宣言やまん延防止等重点措置が発出されるなど依然として先行き不透明な状況が続いております。

外食産業におきましては、生活様式の変化による外食機会の減少、一部地域における緊急事態宣言の再発出、まん延防止等重点措置の適用による酒類提供制限や営業時間短縮要請等、引き続き厳しい経営環境が続いております。

このような状況の中、当社グループは、「大衆というカテゴリーで日本一の外食企業となる」という確固たる目標のもと、既存事業の全体的な底上げを行うための商品開発、業態ごとの販売促進キャンペーン活動、店舗におけるサービス力向上を図るための教育・研修体制の強化等を行い、「まいどおおきに食堂」を中心として、「神楽食堂 串家物語」、「手作り居酒屋 かつぼうぎ」、「つるまる」をはじめとする全業態の経営成績の向上に全社一丸となって取り組みました。また、人々の生活様式が変化していくのに伴い、テイクアウト商品の充実に注力してまいりました。マルチブランドならではの長を活かし、他ブランドの商品を選べるようにするなど、お客様のニーズに合わせた商品開発を行っております。

新型コロナウイルス感染症への対応につきましては、従業員とお客様の安全確保を第一に、従業員の個人衛生チェックの実施やマスク着用の徹底、正しい手洗いやアルコール消毒の徹底、レジ前や客席での飛沫感染防止対策やQRコード決済対応店舗の拡充に取り組みました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の経営成績は、売上高121億2百万円（前年同期比5.3%減）、営業損失19億62百万円（前年同期は営業損失16億4百万円）、経常利益4億69百万円（前年同期は経常損失16億54百万円）、親会社株主に帰属する四半期純利益1億48百万円（前年同期は親会社株主に帰属する四半期純損失22億51百万円）となりました。

セグメントの業績は、次のとおりです。

#### <直営事業>

直営事業におきましては、国内及び海外において「まいどおおきに食堂」、「神楽食堂 串家物語」、「手作り居酒屋 かつぼうぎ」、「つるまる」等の事業展開を行っております。

当事業におきましては、既存事業の全社的な底上げを行うために、販売実績のABC分析から顧客ニーズを図りターゲットを狙った商品開発をするとともに、一部郊外型店舗では駐車場スペースを活用しテイクアウト需要を積極的に取り込みました。また、「神楽食堂 串家物語」では市場直送の新鮮果物を使用したフルーツビュッフェを一部店舗において導入する等、各業態の強みを生かした販売促進キャンペーン活動を実施いたしました。

また、店舗におけるサービス力向上を図るためのフジオアカデミーでは、ZOOM等の活用により受講しやすい環境を構築し、教育・研修体制の強化を行いました。

以上の結果、直営事業全体の売上高は115億37百万円（前年同期比5.1%減）、セグメント損失は7億90百万円（前年同期はセグメント損失5億10百万円）となりました。

#### <FC事業>

FC事業につきましては、当社トレーナーが各加盟店に臨店して行う調理指導の他、店長会議、トレーナー会議等を通じて直営店における成功事例・問題点の共有を進めることにより更なる集客力の向上を図っております。今後も加盟企業との親密なコミュニケーションを図りながら問題点の洗い出し・解消を図り、さらなる集客・売上の向上を目指してまいります。

以上の結果、FC事業全体の売上高は5億65百万円（前年同期比9.6%減）、セグメント利益は3億21百万円（前年同期比24.3%減）となりました。

当社グループの2021年6月末時点の店舗数は821店舗（直営店（国内）525店舗、直営店（海外）5店舗、F C店（国内）287店舗、F C店（海外）4店舗）となりました。ブランド別の店舗数は以下のとおりです。

	直営店 （国内）	直営店 （海外）	F C店 （国内）	F C店 （海外）	合計
まいどおおきに食堂	138	4	213	1	356
神楽食堂 串家物語	81	-	26	-	107
手作り居酒屋 かっぱうぎ	21	-	4	-	25
つるまる	40	-	7	3	50
その他	245	1	37	-	283
合計	525	5	287	4	821

(2) 財政状態に関する説明

①資産、負債、純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末における財政状態は、前連結会計年度末と比較して総資産は31億円増加し、274億97百万円となりました。

資産につきましては、流動資産が前連結会計年度末から40億23百万円増加し、固定資産が9億23百万円減少しております。流動資産が増加した主な理由は、資本性劣後ローンによる資金調達を行ったことによる現金及び預金の増加38億46百万円によるものであります。固定資産が減少した主な理由は、有形固定資産の減少7億23百万円、敷金及び保証金の減少1億62百万円によるものであります。

負債につきましては、前連結会計年度末と比較して20億69百万円増加し、229億1百万円となりました。これは主に資本性劣後ローンを含む借入れの実行による借入金の増加29億18百万円によるものであります。

純資産につきましては、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上及び自己株式の処分等により、前連結会計年度末と比較して10億30百万円増加し、45億95百万円となりました。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間におけるキャッシュ・フローは営業活動によるキャッシュ・フローが2億72百万円の収入、投資活動によるキャッシュ・フローが63百万円の支出、財務活動によるキャッシュ・フローが36億24百万円の収入となり、この結果、当第2四半期連結会計期間末の現金及び現金同等物の残高は、前連結会計年度末と比較して38億46百万円増加し、60億93百万円（前年同四半期連結会計期間は28億85百万円）となりました。各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

当第2四半期連結累計期間において営業活動によるキャッシュ・フローは2億72百万円の収入（前年同四半期は19億84百万円の支出）となりました。主な要因は、税金等調整前四半期純利益2億88百万円になったことに対して、非現金支出である減価償却費が6億8百万円、のれん償却額48百万円、減損損失134百万円発生したことによるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

当第2四半期連結累計期間において投資活動によるキャッシュ・フローは63百万円の支出（前年同四半期は16億75百万円の支出）となりました。主な要因は、有形固定資産の取得による支出が2億51百万円、固定資産の除却による支出が1億39百万円発生したことに対して、有形固定資産の売却による収入が2億75百万円発生したことによるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

当第2四半期連結累計期間において財務活動によるキャッシュ・フローは36億24百万円の収入（前年同四半期は36億55百万円の収入）となりました。主な要因は、長期借入金の返済による支出が16億81百万円、配当金の支払いによる支出が1億8百万円発生したことに対して、短期借入金の純増額が9億円、長期借入れによる収入が37億円、自己株式の処分による収入が8億51百万円発生したことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

最近の業績動向や新型コロナウイルス感染症の先行きが引き続き不透明であること等を踏まえ、2021年2月19日に公表いたしました連結業績予想を修正しております。詳細につきましては、本日（2021年8月12日）公表いたしました「通期連結業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2021年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	2,425	6,272
売掛金	510	351
たな卸資産	150	128
前払費用	448	278
預け金	940	594
その他	445	1,319
貸倒引当金	△0	△0
流動資産合計	4,920	8,944
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	17,239	17,194
減価償却累計額	△8,142	△8,424
減損損失累計額	△1,246	△1,258
建物及び構築物 (純額)	7,849	7,510
工具、器具及び備品	5,893	5,956
減価償却累計額	△4,897	△5,023
減損損失累計額	△300	△308
工具、器具及び備品 (純額)	695	624
土地	1,523	1,283
建設仮勘定	532	469
その他	395	398
減価償却累計額	△329	△342
その他 (純額)	66	55
有形固定資産合計	10,667	9,944
無形固定資産		
のれん	1,660	1,611
その他	69	72
無形固定資産合計	1,730	1,683
投資その他の資産		
投資有価証券	433	581
関係会社株式	275	259
繰延税金資産	1,423	1,261
敷金及び保証金	4,027	3,864
その他	976	1,024
貸倒引当金	△57	△67
投資その他の資産合計	7,078	6,924
固定資産合計	19,476	18,552
資産合計	24,397	27,497

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2021年6月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	1,174	927
未払金	1,180	790
未払費用	509	445
資産除去債務	33	39
賞与引当金	46	0
株主優待引当金	162	196
未払法人税等	19	154
未払消費税等	300	133
短期借入金	5,950	6,850
1年内返済予定の長期借入金	2,877	2,231
その他	197	239
流動負債合計	12,451	12,009
固定負債		
長期借入金	6,163	8,828
リース債務	51	39
資産除去債務	1,146	1,134
預り保証金	263	249
長期未払金	113	113
繰延税金負債	142	27
持分法適用に伴う負債	500	500
固定負債合計	8,380	10,891
負債合計	20,831	22,901
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	2,210	2,213
資本剰余金	2,092	2,509
利益剰余金	199	240
自己株式	△876	△439
株主資本合計	3,625	4,524
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△78	24
為替換算調整勘定	12	29
その他の包括利益累計額合計	△66	54
新株予約権	5	17
純資産合計	3,565	4,595
負債純資産合計	24,397	27,497

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2020年1月1日 至 2020年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2021年1月1日 至 2021年6月30日)
売上高	12,784	12,102
売上原価	4,749	4,467
売上総利益	8,034	7,635
販売費及び一般管理費	9,638	9,598
営業損失(△)	△1,604	△1,962
営業外収益		
受取利息	2	1
貸貸収入	14	8
施設利用料	10	-
雇用調整助成金	-	186
助成金収入	-	2,307
その他	20	41
営業外収益合計	47	2,545
営業外費用		
支払利息	31	36
支払手数料	-	40
持分法による投資損失	25	17
貸貸収入原価	12	4
その他	29	13
営業外費用合計	98	113
経常利益又は経常損失(△)	△1,654	469
特別利益		
新株予約権戻入益	0	-
固定資産売却益	-	22
助成金収入	-	121
特別利益合計	0	143
特別損失		
店舗解約損	91	61
店舗休止損失	323	116
固定資産除却損	44	1
減損損失	622	134
子会社株式評価損	300	-
その他	7	11
特別損失合計	1,389	325
税金等調整前四半期純利益又は 税金等調整前四半期純損失(△)	△3,043	288
法人税等	△792	139
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△2,251	148
親会社株主に帰属する四半期純利益又は 親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△2,251	148

(四半期連結包括利益計算書)  
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2020年1月1日 至 2020年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2021年1月1日 至 2021年6月30日)
四半期純利益又は四半期純損失 (△)	△2,251	148
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△328	103
為替換算調整勘定	△9	15
持分法適用会社に対する持分相当額	0	2
その他の包括利益合計	△337	120
四半期包括利益	△2,589	269
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△2,589	269

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2020年1月1日 至 2020年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2021年1月1日 至 2021年6月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益又は 税金等調整前四半期純損失(△)	△3,043	288
減価償却費	639	608
のれん償却額	48	48
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△7	△1
賞与引当金の増減額(△は減少)	△42	△45
株主優待引当金の増減額(△は減少)	39	34
受取利息及び受取配当金	△4	△4
支払利息	31	36
支払手数料	-	40
為替差損益(△は益)	0	△1
店舗解約損	91	61
子会社株式評価損	300	-
固定資産売却損益(△は益)	-	△22
固定資産除却損	44	1
減損損失	622	134
新株予約権戻入益	△0	-
助成金収入	-	△2,428
雇用調整助成金	-	△186
持分法による投資損益(△は益)	25	17
売上債権の増減額(△は増加)	184	159
たな卸資産の増減額(△は増加)	36	22
仕入債務の増減額(△は減少)	△721	△247
預け金の増減額(△は増加)	668	345
未収入金の増減額(△は増加)	7	415
立替金の増減額(△は増加)	△0	△14
未払金の増減額(△は減少)	△456	△385
未払消費税等の増減額(△は減少)	△195	△166
その他	△105	284
小計	△1,837	△1,006
利息及び配当金の受取額	4	4
助成金の受取額	-	1,329
利息の支払額	△32	△37
法人税等の支払額	△119	△17
営業活動によるキャッシュ・フロー	△1,984	272

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2020年1月1日 至 2020年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2021年1月1日 至 2021年6月30日)
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△1,414	△251
無形固定資産の取得による支出	△17	△10
有形固定資産の売却による収入	-	275
固定資産の除却による支出	△141	△139
定期預金の預入による支出	△70	△70
定期預金の払戻による収入	70	70
貸付けによる支出	△49	-
貸付金の回収による収入	24	15
長期前払費用の取得による支出	△4	△8
敷金及び保証金の差入による支出	△136	△80
敷金及び保証金の回収による収入	146	217
その他	△81	△81
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,675	△63
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	3,750	900
長期借入れによる収入	1,900	3,700
長期借入金の返済による支出	△1,516	△1,681
株式の発行による収入	8	18
自己株式の取得による支出	-	△0
自己株式の処分による収入	-	851
配当金の支払額	△474	△108
支払手数料の支払額	-	△40
リース債務の返済による支出	△12	△13
財務活動によるキャッシュ・フロー	3,655	3,624
現金及び現金同等物に係る換算差額	△5	12
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△10	3,846
現金及び現金同等物の期首残高	2,895	2,247
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,885	6,093

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、2021年5月20日開催の取締役会決議に基づき、香港に所在する機関投資家であるLong Corridor Asset Management Limited (香港SFC 登録番号: BMW115) が一任契約の下に運用を行っている英国領ケイマン島に設立された免税有限責任会社 (Exempted Company in Cayman with Limited Liability) であるLong Corridor Alpha Opportunities Master Fund 及び英国領ケイマン島に設立された分離ポートフォリオ会社 (Segregated Portfolio Company) であるLMA SPC の分離ポートフォリオ (Segregated Portfolio) であるMAP246 Segregated Portfolio、並びに豊田産業株式会社を割当先とする第三者割当による自己株式700,000株の処分を行い自己株式が437百万円減少し、その他資本剰余金が414百万円増加しました。

この結果、当第2四半期連結会計期間末において、その他資本剰余金は415百万円、自己株式は439百万円となっております。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用の計算については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法によっております。ただし、見積実効税率を用いて計算すると著しく合理性を欠く場合には、法定実効税率を使用する方法によっております。

(追加情報)

(新型コロナウイルス感染症拡大に伴う会計上の見積りについて)

当社グループは、当第2四半期連結会計期間末の現状を考慮し、前連結会計年度の有価証券報告書の(追加情報)に記載した新型コロナウイルス感染症の収束時期等を含む仮定について、見直しを行いました。

下期の売上高については、既存店売上2019年度と比較して第3四半期は概ね7割程度、第4四半期以降についても引き続き緩やかな回復傾向が続くという仮定に基づき、固定資産の減損、繰延税金資産の回収可能性等の会計上の見積りを行っております。

なお、新型コロナウイルス感染症の影響は不確実性が高いため、上記仮定に変化が生じた場合には、当社グループの財政状態および経営成績に影響を及ぼす可能性があります。

(四半期連結損益計算書関係)

店舗休止損失

新型コロナウイルス感染症に対する政府や各自治体からの各種要請等を踏まえ、全国の一部店舗において休業を実施いたしました。

当該休業期間中に発生した固定費(人件費・地代家賃・減価償却費等)を店舗休止損失として、特別損失に計上しております。

助成金収入

新型コロナウイルス感染症に伴う政府及び自治体からの特例措置の適用を受けたものであります。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自 2020年1月1日 至 2020年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			調整額 (注1)	四半期連結損 益計算書計上 額(注2)
	直営事業	FC事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	12,159	625	12,784	-	12,784
セグメント間の内部売上高又は 振替高	-	-	-	-	-
計	12,159	625	12,784	-	12,784
セグメント利益又は損失(△)	△510	424	△85	△1,518	△1,604

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額△1,518百万円は、各報告セグメントに配分できない全社費用であります。全社費用の主なものは、提出会社の管理部門等の経費であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「直営事業」セグメントにおいて、当第2四半期連結累計期間に閉店の意思決定がされた店舗及び営業活動から生ずる収益が著しく低下した店舗等について、当該店舗の資産グループの帳簿価額を回収可能価額まで減額し、当該減少額を減損損失として特別損失に計上いたしました。なお、当該減損損失の計上額は、当第2四半期連結累計期間においては622百万円であります。

II 当第2四半期連結累計期間(自 2021年1月1日 至 2021年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			調整額 (注1)	四半期連結損 益計算書計上 額(注2)
	直営事業	FC事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	11,537	565	12,102	-	12,102
セグメント間の内部売上高又は 振替高	-	-	-	-	-
計	11,537	565	12,102	-	12,102
セグメント利益又は損失(△)	△790	321	△469	△1,493	△1,962

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額△1,493百万円は、各報告セグメントに配分できない全社費用であります。全社費用の主なものは、提出会社の管理部門等の経費であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「直営事業」セグメントにおいて、当第2四半期連結累計期間に閉店の意思決定がされた店舗等について、当該店舗の資産グループの帳簿価額を回収可能価額まで減額し、当該減少額を減損損失として特別損失に計上いたしました。なお、当該減損損失の計上額は、当第2四半期連結累計期間においては134百万円であります。